

# 戦争中の生活を読む 1

～新聞記事と写真で知る～

A-2-9  
新聞を  
使う

【 対象 】 一般教員、司書教諭、学校司書、生徒  
一般

【 時間 】 50分

【 会場 】 多目的ルーム、会議室、教室など

【参加者の持ち物】  
筆記用具  
蛍光ペン など

【準備】 大きめの紙 付箋 マクキングテープなど  
キット 2-12  
戦争と戦後の掲示板 暮らしと戦争

【 講師 】 不要

## 【 活動の流れ 】

- ① 資料から一版の人々の様子が分かるものを探す。
- ② ①からキーワードを探す  
勤労奉仕・学童疎開・少国民・軍事訓練など知っているキーワードを挙げておく。
- ③ それらがどういう記事として紹介されているかを調べる。  
大変だ・悲しい・つらい・くるしい・平気・明るい・元気・意欲的  
などの言葉を提示しておく。
- ④ 戦争中の大変さ・つらさがわかるニュースと、大変さ・つらさがわからないニュースに分ける。
- ⑤ ④大変さ・つらさがわからないニュースについて、その理由を考える。
- ⑥ 思ったことや感想を付箋に書き、④の用紙に貼る。

【 その他 】 キーワードは事前に決めておきます。キーワードが紙面になくても、考察のヒントになります。③はプラス・マイナスの感覚で分けます。なぜそういう写真ニュースが発行されたのかを考えます。